

## 第10回まちづくり市民会議議事録

- 日 時 平成22年 1月21日(木) 午後6時30分～午後8時15分  
■場 所 太田市役所10階 政策推進会議室  
■出席者 西村会長、福田副会長、青木委員、秋山委員、窪田委員、新藤委員、  
高倉委員、棚澤委員、塚田委員、徳永委員、田中課長補佐、小川主任  
(委員10名、市2名)

### 【概要】

#### 1. イベント、市民参加、メディアについて

- ・徳永チーフの司会で進行した。
- ・イベント、市民参加、メディアについて出された主な意見は次のとおり。

#### 【イベント】

- ・別紙「太田市のイベント」の期待できる観光客については、西村会長の主観で評価されているので、全員で評価しなおすべきではないか。
- ・観光とは「食べる・飲む・泊まる」がなければならない。現状は、トイレを使い、ゴミを落とし、ちがう町へと去っていくという印象がある。
- ・太田市主催のイベントは、力をいれるポイントがずれているのではないか。
- ・太田市のイベントのうち、市の主催に関わらず、観光資源となるものをピックアップする。
- ・太田市が主催するイベントがあまりにも少なく、このことは市の観光政策そのものを表していると考えられる。イベントに市がどのように関わっていくか議論すべきではないか。
- ・観光客は、他では見られないものを求めてやって来る。芝桜は他市にもあり、太田市独自のものではない。芝桜単独では、やがて飽きられることも考えられることから、他のイベントと併せて開催するべき。
- ・お祭りは、市が関与せず、地域で行っているものがほとんどである。これを、例えば以前のおおた祭りのように、市が関与する方向に戻すのは難しいのではないか。
- ・芝桜について、初年は様々な団体がボランティアで参加していたが、その後の参加は少なくなり、実質的に市が管理等を行っている。何故このようになってしまったのか。
- ・お祭りが地元任せられているのは、市にお金が無いからか。
- ・芝桜とゆり（ゆり園）の咲くあいまに、すずらんやライラックの花を咲かせるようなイベントを行いたい。
- ・全日本実業団駅伝競走大会は、地元スバルが出場しておりテレビ中継もあることから、市の観光イベントとしてもっと力をいれるべきではないか。

#### 【市民参加】

- ・参加してよかったと実感がわくものは、口コミで人が集まる。
- ・太田市には大学がある。学生の意見や発想を取入れるような働きかけをしてはどうか。

## 【メディア】

- ・フィルムコミッションを活用すべきである。
- ・メディアの活用は「諸刃の剣」である。良い情報も悪い情報も即座に広範囲に伝わるので注意が必要である。
- ・フィルムコミッションで何をPRするのか、観光の中身の充実が先ではないか。
- ・グラフぐんま2009年11月号に縁切寺満徳寺の記事が載っている。2010年2月号には、世良田東照宮正月神事の御新始式が掲載される。お金をかけなくても、このような媒体を利用するPR方法もある。ただし、掲載されるにはそれなりの努力が必要。
- ・マスコミはこちらから相当働きかけないと来てくれない。

## 2. 提言書作成のチームについて

- ・塚田委員が、産業・歴史チームに加わり、産業チームのチーフとなる。
- ・高倉委員が産業チームに加わり、歴史チームのチーフとなる。
- ・秋山委員が歴史チームに加わる。
- ・環境チームのチーフは後日決める。
- ・チーム構成は次のとおり。

イベント、市民参加、メディア	◎徳永委員、青木委員、窪田委員、新藤委員、棚澤委員、西村委員、福田委員
産業	◎塚田委員、青木委員、窪田委員、高倉委員、棚澤委員、西村委員、福田委員
歴史	◎高倉委員、秋山委員、塚田委員、徳永委員、西村委員
環境	秋山委員、新藤委員、西村委員

◎はチーフ

## 3. その他

- ・提言書の内容について、再確認した。
- ・次回の会議は、「産業（商業・工業・農業・お土産・食文化）」を議論する。
- ・事務局は、太田市の各イベントの、①担当課（窓口）、②来場者数、③マスコミに対する情報伝達の有無・方法について確認する。
- ・各委員は3月12日（金）までに「歴史（産業遺産、文化遺産）」をテーマにレポートを作成し事務局へ提出する。
- ・第1期市民会議の提言内容の検証は3月を目途に行う。

## 【次回の会議】

日 時：2月18日（木） 午後6時30分～

場 所：太田市役所10階 政策推進会議室